

2 各種委員会報告

2.1 図書委員会

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	5月18日	オンライン	① 2022年度図書委員会構成について ② 2022年度図書委員会開催日程について
2	6月23日	オンライン	① 2023年度教育・研究に関する年度計画書の作成について ② 研究推進員の図書の館外貸出し条件見直しについて
臨時	7月14日～ 7月21日	メール	① 図書の館外貸出し及び複写に関する内規の一部改正について
3	10月24日	オンライン	① 2023年度予定経費要求方針について
臨時	2月3日～ 2月10日	メール	① 2023年度図書館開館スケジュールについて
4	2月28日	オンライン	① 2023年度図書館図書費配分について ② 2023年度図書館各種資料申込みについて ③ 図書館利用規程の改正について

2.2 特別資料選定分科会

2022年度は分科会を開催しなかった。

2.3 電子資料分科会

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	7月13日	オンライン	① 2022年度（2023年向け）中止候補について（審議） ② 新規バックナンバー・買切データベース申込について（審議） ③ 新聞の購読復活について（審議）
2	9月26日	オンライン	① 2022年度研究用雑誌・新聞及びデータベースの新規購入申込について（審議）
3	1月27日	オンライン	① 2022年度新規バックナンバー・データベース（買切）の優先順位について（審議）
4	2月10日～ 2月15日	メール	① 2023年度雑誌新聞・電子資料の新規購入受付について（審議）

円安や欧米の物価上昇等による外国雑誌・電子ジャーナル等の価格高騰（詳細は「1.3 円安による外国雑誌及び電子資料への影響と対応」参照）を受け、今年度は購読型資料の新規募集を行わなかった。また、昨年度まで他の分科会に推薦していた買切データベースについて、今年度から当分科会での審議対象となった。審議の結果、13点の購入を決定した。購入資料は「8.1 資料購入一覧」のとおり。

2.4 図書館基礎資料選定分科会

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	8月3日	メール	① 第1回資料購入（資料選定ガイドライン5.②に基づく緊急購入）について（報告）
2	12月9日～ 12月13日	メール	① 第2回資料購入について（審議）

3	3月1日～ 3月9日	メール	①継続購入状況について（報告） ②継続資料の購入中止について（審議）
4	3月7日～ 3月8日	メール	①第3回資料購入について（審議）
5	3月9日～ 3月17日	メール	①資料選定ガイドライン改訂について（審議）

新規購入資料は「8.1 (1) 図書館基礎資料」のとおり。

2.5 アフリカ文庫選定分科会

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	6月21日	オンライン	①継続発注タイトルの選定について（審議） ②2022年度の選定方法について（審議） ③アフリカ文庫選定分科会について（報告） ④2021年度の選定結果について（報告） ⑤アフリカ文庫選定基準について（報告） ⑥2022年度の予算額について（報告）
2	9月21日～ 10月20日	メール	①アフリカ文庫の選定について（審議）

1タイトルの継続発注と、和書10冊、洋書18冊の購入を決定した。

2.6 蘆田文庫選定分科会

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	7月19日～ 7月20日	メール	①選定分科会の運営と選定基準について ②2022年度の選定について
2	11月10日～ 11月11日	メール	①2022年度の追加選定について

以下2点の資料の購入を決定した。

■新刻 延壽御江戸繪圖 若林喜兵衛（安政5年）

■肥前長崎図 牛深屋板（弘化3年）

2.7 江戸文藝文庫選定分科会

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	7月18日～ 7月21日	メール	①選定資料候補の座長提案について（審議）
2	11月7日～ 11月24日	メール	①選定資料候補の座長提案について（審議） ②入札結果の報告について（報告）
3	1月20日～ 1月24日	メール	①選定資料候補の座長提案について（審議）

以下5点の資料の購入を決定した。

■忠臣房受帖3巻（存上中巻）/[十遍斎一九作・画]。--[江戸]:[岩戸屋板],寛政9[1797]序

■虚空太郎武者修行咄3巻/南杉笑楚満人戯作;豊廣画。--[江戸]:和泉屋市兵衛板,享和2[1802]

■虚空太郎舎弟鬻討3巻/南杉笑楚満人作;豊廣画。--[江戸]:和泉屋市兵衛板,享和2[1802]

- 信玄一代記 5 巻 . -- [江戸]: [鶴屋喜右衛門板], [安永天明頃?]
- 江都錦今様國盡: 児童怪力矢矧牛若丸 / 一勇齋國芳画 . -- [江戸]: 三田屋喜八, 嘉永 5 [1852]

2.8 ケベック文庫選定分科会

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	7月15日	オンライン	① 2021 年度予算額について (報告) ② 2022 年度のケベック文庫選定方法について (審議)

分科会開催後、承認された選定方法に沿って下記資料の選定・購入が行われた (仏語 19 点)。

- L'AMERIQUE EST AUSSI UN ROMAN QUEBECOIS. VUES DE L'INTERIEUR
- REBATIR LES REGIONS DU QUEBEC. UN PLAIDOYER, UN PROJET POLITIQUE
- UNE FOIS LE QUEBEC SOUVERAIN
- LES CHRONIQUES DU QUEBEC LIBRE - TOME 2
- LES DIVERSITES EN EMPLOI. PERSPECTIVES ET ENJEUX AU QUEBEC CANADA
- FEU. ARCHEOLOGIE DU QUEBEC. LUEURS ET FUREURS
- TREIZE CONTES FANTASTIQUES QUEBECOIS. ANTHOLOGIE
- LIBERTE ET CONTRAINTES DANS LA LITTERATURE QUEBECOISE - MELANGES OFFERTS EN HOMMAGE AUX TRAVAUX DE P (ESPACE LITTERAI)
- MIGRATION ET CLASSEMENT SOCIAL:ENQUETE AUPRES DE MIGRANTS MAROCAINS AU QUEBEC (PUM)
- GEOGRAPHIES DU PAYS PROCHE - POETE ET CITOYEN DANS UN QUEBEC PLURIEL (PAPIERS COLLES)
- QUI EST QUEBECOIS ?
- LE FRANCAIS AU QUEBEC ET EN AMERIQUE DU NORD
- LE MONDE RURAL QUEBECOIS AU XVIII ET XIX SIECLE - CULTURES, HIERARCHIES, POUVOIRS (HORS COLL SC HU)
- ANTIJUDAISME ET INFLUENCE NAZIE AU QUEBEC:LE CAS DU JOURNAL L ACTION CATHOLIQUE - 1931-1939 (PUM)
- LE SCHISME IDENTITAIRE - GUERRE CULTURELLE ET IMAGINAIRE QUEBECOIS (ESSAIS DOCS)
- DITS ET NON-DITS : MEMOIRES CATHOLIQUE AU QUEBEC (SOCIUS)
- VIVRE AU QUEBEC
- CANADIENS FRANCOPHONES
- Mythologies québécoises

2.9 日本近代文学文庫選書分科会

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	6月6日～ 6月13日	メール	① 2022 年度の選書方針について (審議) ② 2022 年度の選書方法について (審議) ③ 2022 年度の予算額について、など (報告)
2	6月7日～ 7月8日	メール	①第1回選書 (審議)
3	10月24日～ 11月25日	メール	①第2回選書 (審議)

以下 6 点の資料の購入を決定した。

- 風流線 / 鏡花小史 [著]; [正], 續 . -- 東京: 春陽堂, 1904-1905
- 狐の手套 / 堀辰雄著 . -- 東京: 野田書房, 1936
- 鴛 / 小山内薫著作 . -- 東京: 昶山書店, 1913

- 五人女 / 真山彬著 . -- 東京 : 新潮社 , 1910
- 日本人靈歌 : 歌集 / 塚本邦雄著 . -- 東京 : 四季書房 , 1958
- 机邊の記 / 永井荷風著 . -- 東京 : 青燈社 , 1936

2.10 学術成果リポジトリ運営部会

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	6月6日	オンライン	①学術成果リポジトリの JAIRO Cloud への移行について (審議) ②修士学位請求論文等のリポジトリ登録について (審議) ③明治大学学術成果リポジトリについて (報告)

主な審議事項として、現行リポジトリシステム DSpace から JAIRO Cloud への移行が挙げられる。これまで古いシステムで稼働していたことによるエラーが頻発していたことを踏まえ、費用も比較したうえで JAIRO Cloud への移行を提案し承認された。約半年間の構築及び移行期間を経て 2022 年 12 月 12 日から JAIRO Cloud の稼働が開始した。部会員には、JAIRO Cloud 稼働前にメール報告を行った。JAIRO Cloud への移行の詳細及び学術成果リポジトリの登録状況等は、「3.1 図書館総務事務室 (6) リポジトリ業務」を参照。

2.11 図書館振興資金運営部会

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	3月21日	オンライン	①明治大学図書館振興資金収支残高の引当特定資産への積立について (審議) ② 2022 年度年度明治大学図書館振興資金寄付者芳名について (報告)

2022 年度は 11 件、571,000 円の寄付を受け、果実を含む積立額は 3,294,857 円となった。2018 年度に設定されから 5 年を経過し、当面の目標としていた 300 万円に達したため、事業実施に向けて準備を進めていく。

2.12 図書館紀要編集部会

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	7月29日～ 8月8日	メール	①『図書の譜』第 27 号について (審議) ②『図書の譜』第 27 号の原稿募集について (審議) ③第 2 回図書館紀要編集部会の開催について (審議)
2	11月29日	オンライン	①『図書の譜』第 27 号の原稿について (報告) ②『図書の譜』第 27 号査読について (審議)

『図書の譜』第 27 号を刊行した (A5 版、194 頁、2023 年 3 月 31 日刊行、450 部発行)。内容は、「5 刊行物」に掲載の目次を参照。

2.13 書評コンテスト選考部会

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	6月7日	オンライン	①採点と講評について ②応募要領について ③書評の書き方講座について
2	12月15日	オンライン	①第12回明治大学図書館書評コンテスト 経過報告 ②第12回明治大学図書館書評コンテスト 採点状況報告 ③受賞作品の選考 ④受賞者の表彰について 表彰式・受賞者交流会（中止）の日時、場所及び賞品について ⑤第12回書評コンテスト 報告及び審議事項

応募要領を7月1日に公開し、本学学生対象に、10月に募集を行い、24編の応募があった（学部：法3、政経2、文10、営5、情コミ4）。剽窃チェックの上、選考部会員・図書館員有志で採点を行い、12月15日の会議で受賞者9名を決定した。

2023年2月3日に表彰式を中央図書館多目的ホールにて行った。また受賞作品集を作成し、2、3月に中央図書館・和泉図書館・生田図書館で受賞作品の展示を行う際に自由配布した。

なお、募集に先立ち、9月29日に「書評の書き方講座」（講師：国際日本学部 酒井信先生）を学部生・大学院生を対象として、オンラインで行い、延べ53名の視聴があった。録画も行い、10月1日から10月31日まで学内限定で配信した。

第12回書評コンテスト受賞者

	氏名	所属	学年	書名（タイトル）	著者
最優秀賞	須藤 佳織	情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション学科	4	風立ちぬ	堀 辰雄
優秀賞	田邊 恭大	文学部 文学科	2	舟を編む	三浦 しをん
特別賞 （紀伊國屋）	小野寺 優斗	文学部 史学地理学科	3	悲しい曲の何が悲しいのか：音楽美学と心の哲学	源河 亨
特別賞 （三省堂）	中野 大輝	経営学部 経営学科	3	地球にちりばめられて	多和田 葉子
特別賞 （三省堂）	飯山 陸	文学部 文学科	3	読んでいない本について 堂々と語る方法	ピエール・バイヤール
特別賞 （丸善雄松堂）	角掛ののか	法学部 法律学科	4	これからの「正義」の話をして いまを生き延びるための哲学	マイケル・サンデル
佳作	稲葉 夏花	文学部 文学科	3	おいしいごはんが食べられますように	高瀬 隼子
佳作	大塚 周	文学部 文学科	2	ピダハン 「言語本能」を超える文化と世界観	Daniel L.Everett
佳作	宮田 剛	経営学部 経営学科	3	無理ゲー社会	橘 玲

2.14 生田図書館ギャラリー運営部会

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	7月11日～ 7月19日	メール	①企画展「アーティストックウクライナ」について（審議）
2	11月7日～ 10月13日	メール	①企画展「朔太郎と歩く」について（審議）
3	12月21日～ 1月11日	メール	①企画展「建築設計スタジオワークス展 2023 WINTER」について（審議）

2.15 図書館活用法運営部会

図書館活用法運営部会は、全学共通総合講座「図書館活用法」を適切に運営することを目的として、図書委員会の下に設置されており、図書館長、副館長、授業コーディネーター、職員で構成されている。

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	7月28日	オンライン	① 2023年度の開講について（審議） ② 2023年度の開講申請書及び授業テーマについて（審議） ③ 今年度の授業に係る変更について（報告） ④ 今後のスケジュール（報告） ⑤ 今後の図書館活用法について（報告）
2	11月21日	オンライン	① 春学期授業の実施結果について（審議） ② 「図書館活用法」授業の概要・到達目標等について（審議） ③ 2023年度の成績評価方法について（審議） ④ 2023年度講座計画書（シラバス）について ⑤ 講師略歴書の提出について（報告） ⑥ 図書館リテラシー教育活動指針策定WGについて（報告）
3	3月14日	オンライン	① 秋学期授業の実施結果について（審議） ② 2023年度のレポート課題について（審議） ③ 2023年度開講科目のシラバスについて（報告） ④ 2023年度の曜日時限及び定員について（報告） ⑤ 図書館リテラシー教育活動指針策定WGの審議結果について（報告）

2022年度の授業は、駿河台、生田で各1コマ、和泉で3コマの合計5コマをオンデマンド型のオンライン授業として実施した。

会議においては、各授業の実施状況の振り返りを行うとともに、2023年度の授業運営にかかわる審議を行った。

図書館活用法運営部会作業グループ

図書館活用法運営部会作業グループは、図書館活用法運営部会の下に設置されており、各図書館事務室の職員で構成されている。

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	6月1日	和泉図書館館長室	① 2022年度春学期授業の実施状況等について（審議） ② 次年度の開講について（審議） ③ 2024年度以降について（審議）
2	6月15日	和泉図書館館長室	① 2024年度以降について（審議）

3	10月13日	オンライン	① 2022 年度春学期総合テスト及びアンケートの結果について(審議) ②各講師によるコメントについて(審議) ③ 2022 年度春学期に発生したことについて(審議) ④「図書館活用法」授業の概要・到達目標及び到達目標に必要なスキルについて(審議) ⑤ 2023 年度授業指針について(審議) ⑥ 2023 年度の成績評価方法について(審議) ⑦ 2023 年度の授業計画書(シラバス)作成及び提出について(審議) ⑧ 2022 年度 SD 研修について(報告)
4	2月24日	オンライン	① 2022 年度秋学期総合テスト及びアンケートの結果について(審議) ②秋学期講師コメントについて、授業検証について(審議) ③ 2023 年度の授業運営について(審議) ④図書館リテラシー教育活動指針策定WGの審議結果について(審議) ⑤ファイルの保存について(審議) ⑥ 2022 年度 SD 研修について(報告)

各授業について、総合テスト、授業改善アンケート、授業評価アンケートをもとに授業内容及び実施方法の検証を行った。また、2024 年度以降の図書館活用法について意見交換を行った。

2.16 閲覧部署連絡会

閲覧部署連絡会は、図書館のサービスを改善するために、閲覧担当部署の円滑な運営を目的として、図書館利用規程等に関する事項、貸出・蔵書業務に関する事項、レファレンス・マルチメディア業務に関する事項、その他連絡会が必要と認めた事項について審議する。

2021 年度に続き活動制限指針が設けられたため、在宅受講特別配慮認定者への郵送サービスを実施した。また、コロナ禍対応から通常対応に移行することを念頭に、諸問題について検討・対応を行った。連絡会は主に Teams やメールを利用して適宜行った。

通常対応への移行については、まず、5月にコロナ禍において利用を停止していた学外者への督促(返却のお願い)を再開した。

また、最大の課題であった学外者利用再開について、“学生・教員への影響を最小限にすること”を主眼として検討を重ねた。その結果、利用再開は段階的に行うこととし、第一段階は2023年5月8日から協定校・機関所属者、第二段階は2023年6月8日(または6月1日)から校友・地域住民・リバティアカデミー会員の利用を再開することとした。なお、2020年4月8日時点で有効期限があった校友・地域住民について、それぞれ、事前有効期限延長処理や返金対応をすることとし、準備を進めた。

3月には“2023年度は、5月8日から活動制限指針をレベル0とする”という大学の方針が示されたため、コロナ禍対応として実施してきた返却時延滞罰則解除措置の終了時期について検討した。その結果、全利用者について2023年6月22日返却分までを対象とすることを決定し、広報等を開始した。

そのほか、①返却期限延長回数変更の検討及び2023年度からの変更(1回→2回)を決定、②研究推進員のうち、専門研究員・博士研究員・研究員・客員研究員で日本学術振興会特別研究員へのサービス内容変更と利用者区分新設、③外国人研究者(招聘教授・招聘研究員)の図書館利用方法の変更、などを行った。

リテラシーイベントWG

(株)読書人と共催で、大学生に向けて、本の選び方・読み方、伝え方など読書に関する講義(講演)を実施する読書人カレッジを、2021年度から継続して2年目となり、2022年度は2回実施した。実施各回については、「4 主要行事・イベント」参照。参加者は2回合計で299名であり、第1回の参加者数は244名(オンラインによる参加者含む)で過去最高の集客であった。参加者アンケートの集計結果(2回分合計)の、満足度についての回答では、満足が75.3%、やや満足が24.7%であり、満足度は高かった。参加申込み時と会場で講師への質問を受け付けた。学生からは、講師の作品やその制作などに関する熱心な質問が多数寄せられ、

活発な意見交換が行われた。

Meiji Book Avenue (MBA:図書館公認読書推進学生団体) は、和泉図書館おすすめ本コーナーでの展示・入替、明大祭でのビブリオバトル開催、年間を通じてオンラインで、作品を語る会、読書会、ビブリオバトル練習会を行った。

2.17 利用案内編集分科会

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	12月9日	オンライン	①学生用『図書館利用案内』について(審議) ②教員用『図書館利用案内』について(審議) ③作業スケジュールについて(審議)

「学生用図書館利用案内」(増刷)、「教員用図書館利用案内」(新規発行)をそれぞれ行った。

2.18 中央図書館学習用図書選書分科会

中央学習用図書選書分科会(以下、選書分科会)は、「明治大学図書館中央図書館学習用図書選書分科会運営内規」に基づき、中央図書館事務長を座長とし、座長が指名した中央図書館事務室及び図書館総務事務室の職員により構成されている。選書分科会は、原則、隔週で開催しており、和書4社、洋書2社の見計らいによる新刊学習用図書の選定や寄贈本の受入可否決定等を行っている。2022年度は21回開催した。

選書にあたっては、2020、2021年度に引き続き電子ブックの購入を積極的に行った。電子ブック Maruzen eBook Library の試読サービスを継続し、試読利用の多いタイトルを購入した。シラバスの参考図書欄掲載図書について、洋書はすでに電子ブックを優先して購入していたが、和書も同様に購入した。

フランスの代表的な新聞「Le Monde」について、過去に本学が契約するデータベースで閲覧が可能のため購読を中止したが、近年当該データベースに収録されなくなっていたことが判明し、電子資料分科会に上程のうえ、購読を再開した。

なお、図書館基礎資料選定分科会に Oxford Handbooks Online、Oxford Scholarship Online、Cambridge Core eBooks 掲載タイトル(全て2023年度のEBA環境提供付き)を選定・推薦し、採用された。

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	4月6日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書 ②MeLの不正利用について(情報共有)
2	4月20日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書 ②仏語新聞 Le Monde について
3	5月11日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書 ②台本と楽譜の寄贈について ③学習用図書選書委員会申合せ事項の意識合せ
4	5月25日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書 ②仏語新聞 Le Monde について
5	6月8日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書 ②大量寄贈について
6	6月22日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書 ②独辞典新版購入について
7	7月6日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書
8	7月20日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書
9	9月21日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書

10	10月5日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書 ② Lexis360 (仏法 DB) の更新について
11	10月19日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書 ②図書館基礎資料の要望について
12	11月2日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書
13	11月16日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書 ② Lexis Library (英法 DB) の更新について
14	12月1日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書 ② MeL の不正利用について (情報共有)
15	12月14日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書
16	1月18日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書
17	2月1日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書 ②ジャパンナレッジ DB 不正利用について (報告)
18	2月17日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書 ②実務・軽読書コーナーの選書基準について
19	3月1日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書 ② Cambridge Core 来年度の契約について
20	3月15日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書
21	3月29日	研究棟1階 図書館選書室	①見計らい、寄贈図書選書

※ Maruzen eBook Library の選書

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	4月22日～ 5月10日	メール	① Maruzen eBook Library の選書
2	5月21日～ 5月24日	メール	① Maruzen eBook Library の選書
3	6月2日～ 6月7日	メール	① Maruzen eBook Library の選書
4	6月7日～ 6月13日	メール	① Maruzen eBook Library の選書
5	6月14日～ 6月21日	メール	① Maruzen eBook Library の選書
6	6月22日～ 6月30日	メール	① Maruzen eBook Library の選書
7	7月5日～ 7月13日	メール	① Maruzen eBook Library の選書
8	7月28日～ 8月31日	メール	① Maruzen eBook Library の選書
9	9月29日～ 10月5日	メール	① Maruzen eBook Library の選書
10	10月21日～ 10月31日	メール	① Maruzen eBook Library の選書

11	11月21日～ 11月30日	メール	① Maruzen eBook Library の選書
12	1月12日～ 1月18日	メール	① Maruzen eBook Library の選書
13	1月25日～ 1月31日	メール	① Maruzen eBook Library の選書

※ Oxford Scholarship Online、Oxford Handbooks Online、Cambridge Core eBooks の購入タイトルの選定

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	1月30日～ 2月3日	メール	① Oxford Handbooks Online 購入タイトル選書
2	3月10日～ 3月13日	メール	① Oxford Scholarship Online 購入タイトル選書
3	3月16日～3 月20日	メール	① Cambridge Core eBooks 購入タイトル選書

2.19 教員による生田学習用図書選書分科会

「教員による生田図書館学習用図書選書分科会運営内規」に基づき、理工学部、農学部の各学科等より選書委員を選出した。選書委員にお願いしている見計らい図書の選書については新型コロナウイルス感染症の影響で実施しなかったが、「学習用図書推薦」を依頼した。この他、例年と同様に夏休みの読書支援として「夏休みお薦め本（緑陰図書）－教職員・図書館スタッフが薦める本－」を企画し、教員へ図書の推薦を依頼した。

2.20 オンラインサービス WG

2022年度は、対面による会議は行わず、懸案事項が出てきた際に Microsoft Teams 内で検討を適宜行った。図書館ホームページ等のオンラインサービスに係る動きとして、多読リーダー案内を追加したこと、次期 Learning Management System（以下、LMS）シラバス部分への意見集約を行ったこと、OPACの新機能等が挙げられる。

多読リーダーは、個別のタイトルではなく学習レベルやシリーズで探されることが多く、OPACでは探しにくい。そのため検索の補助としての案内を図書館ホームページの「資料・情報の探し方」ページにて11月15日より公開した。掲載内容等は「3.5 中野図書館（2）教育・研究支援」を参照されたい。

LMSとして使われている Oh-o!Meiji には授業シラバスが収録され、教科書・参考図書の情報が掲載されているが、現仕様では図書館 OPAC と掲載図書が自動的にリンクする仕組みはない。この機能があればシラバス図書を購入・配架している図書館の学習支援機能がより強化されると期待できるため、関連担当・事務長会で検討し、次期 LMS シラバス部分へ搭載する具体的な提案を検討するために図書館内で検討チームを作成し、図書館から次期 LMS プロジェクトへ要望をする予定である。

2021年度利用者アンケートでの内容を踏まえ、利用者への新たな情報発信として、OPAC トップページに新着図書案内の表示追加を行った。各館ごとに配架日が新しい図書をリスト表示することで、新たな図書の発見や興味に繋がることを期待している。また、ポータルサービスの貸出一覧画面のデフォルトの並び順を「貸出館」順から「返却期限日」順に変更した。

2.21 図書館リテラシー教育活動指針策定 WG

図書館リテラシー教育活動指針策定 WG 編成の経緯等は、「1.2 図書館リテラシー教育活動指針策定 WG について」を参照のこと。

回	開催日時	開催方法・場所	議事
1	10月4日	和泉図書館会議室	①図書館リテラシー教育活動指針策定 WG について（審議） ・会議の目的、目標について ・構成員について ・ロードマップについて ・会議日程、記録について ②図書館リテラシー教育実施調査について（審議）
2	10月18日	オンライン	①宿題について（審議） ・明治大学図書館としてのリテラシー教育 ・リテラシー教育の再構築
3	11月8日	和泉図書館会議室	①明治大学図書館リテラシー教育活動指針（案）について（審議） ②リテラシー教育の再構築について（審議）
4	12月6日	和泉図書館会議室	①図書館活用法を単位制の授業として継続する / しないについて（審議） ②リテラシー教育の再構築について（継続審議）
5	12月14日	和泉図書館会議室	①図書館活用法を単位制の授業として継続する / しないについて（継続審議） ②リテラシー教育の再構築について（継続審議）
6	12月20日	和泉図書館会議室	①図書館活用法を中心とした図書館リテラシー教育活動の今後について（審議） ②明治大学図書館リテラシー教育活動指針（案）について（継続審議） ③リテラシー教育の再構築について（継続審議）